

100年塾の塾生が語る Vol.3 体格は変えられないが、 体質は変えられる

考え方や観点を考えることで、会社の体質は改善できる。
創業71年を迎えても変化を恐れず新たな試みに挑もうとする
福田社長に100年塾について語ってもらった。



福田自動車工業株式会社
代表取締役
福田裕明
3期生
1964年埼玉生まれ。埼玉県川口市で「福田自動車工業株式会社」を経営。地元で創業した自動車の整備業、販売や保険などを行っている。創業70年を超える老舗。71年目の今年、新たな試みに挑もうとしている。

100年塾の塾生インタビュー第3回は2013年に入塾の「福田自動車工業株式会社」の福田裕明社長。今年で創業71年目を迎える、老舗の自動車整備工場だ。福田社長に入塾を決めるまでの苦悩や経緯、今後の展望を語ってもらった。

「なぜこの会社の社長になろうと考えたのですか？」

福田 1946年、祖母が会社を創業し、次男の父を含めた三人の兄弟で交える形ではじまりました。時代は高度成長期、一般に名は知られていないけど、都庁の仕事を請け負うなどしており、クルマ整備の業界ではかなり有名でした。

しかし、当初私が就職先として選んだのは、まったく違う業種でした。周知から「就職に苦労せず」帰れるところがあった「いいよな」と、言わ

れることに以前から抵抗がありました。しかし、継ぐ意思は一切なかったです。しかし、自身の将来を考えたとき、経営者になってみたいという思いが次第に強くなり、父のいる店舗に入社しました。平成8年のことです。

入社後はそれまでの広告代理店時代の経験を活かし、販売だけは誰にも負けないように頑張りました。売事を取りつてきたね。実際、一番仕事をうまくしていたのは自分だという自信と自信がありました。しかし今思えばそのことよって、反発も多くなり、店頭に平積みしてあった「敵」を作ってしまった。

「社長になられたのは、いつのことですか？」

福田 私が5代目の社長になったのは2008年のことです。それと同時に社員の半分が辞め、優秀なメカニックも独立していきました。それでも強気は変わらな、今の人数で何とかなるだろう、自分が社員を育てればいい、そんな風に考えていました。

言うまでもなく、現実そんな簡単な話ではありません。また親族との複数代表の形を取っていた、これが原因で低迷に至っていました。蛇取りが複数いて、進むべき方向性が違ってしまったのは、一丸となつて対応できるはずがありません。

更に、リーマンショックが追い打ちをかけた。もう何か手を付けて、どうしたらいいのか、サブパリ分からなくなつてしまいました。自分のモチベーションを上げる手立を見失いました。

**ブライドなんていらない
確固たる信念を持つ**

「赤字社員だらけでも営業利益20%をたたき出した社長の経営ノート」をたたくまでです。

福田 私のなかで、飲んで爆発する際に最寄り駅にある書店で本を1冊必ず買うことをルールにしています。たほとんがビジネス本でしたが、あるとき、店頭に平積みしてあった

「赤字社員だらけでも営業利益20%をたたき出した社長の経営ノート」をたたくまでです。

この本はひとりで晩飯を食べてたのだから、自己嫌悪に陥りましたね。つまずくと、社員が目に向いていなくなった自分の責任で会社が窮地に陥ったのか、と。

本に書かれていたホームページを調べ、会社説明会に足を運びました。そこで最後に親れた動画「鷹の選り」で完全にスイッチが動きました。年老いた鷹の物語で、鷹はそのまま何もせずに死を待つのか、それとも

仕事に役立つ ITEMS



◆経営者はもちろん、アルバイトスタッフ、独立を目指す方が楽しみながら経営を学ぶことができます。会社を経営する上で必要な多くのことがゲームを通して理解できます。詳細はこちらら
http://will-way.net/mg_training

100年塾アイテム列伝③ 戦略マネジメントゲーム(MG)

なぜ利益が続かないのか？
100年塾で指導しているこの質問の回答がハッキリしました。それは幹部社員をはじめ、社員が経営の数字を理解していないからというものです。数字を理解できない社員は、もちろん数字を意図することができません。その結果、数字が変わることがまずないというわけです。

戦略マネジメントゲーム(MG)はゲームを通じて経営体質をすることができ、経営を疑似体験する

ことにより、戦略思考、決断力、計算力が養われ、経営は利益からの「逆算」であることが実感できます。また職場の環境を整えて準備しておくことが、いかに仕事の効率を上げるか「属かお困りづくり」の原理原則にも気づくことができます。

わが社では、年間2回受講することを中心とした義務づけをしています。そのおかげで高校卒業してまだ3年目の若手社員でも営業利益を確保する手段を理解しているの、業界平均9%と言われる営業利益を20%も残すことができています。

Key Word

ブライドなんて いらない

常に社員に対して不平不満をもらす社長でも倒産したあと社員を言い続ける人はいない。だから常に自身の考えや行動を省みることが、ブライドなんて、そそ落とした方がいい。

苦しくとも変化を受け入れ、新たにチャレンジをする道を選ぶのか、という者です。私にとって、これは二者択一ではありませんでした。チャレンジする以外の選択肢は考えられません。

「100年塾に入られて何が一番変わりましたか？」

福田 人と同じく、人のマネをするのが本当に苦手でした。しかしそれは不要なブライドだということを100年塾で、思いっきり叩き込まれました(笑)。いいやり方は真似ていい、真似るべきだ。

また月に1度は社員たちとの飲み会、加えて1対1で飲み会もするようになりました。当初はぎこちなく話すこともないような状況でしたが、初めて社員からお酒を注いでもらった時は感激しました。社員とコミュニケーションが図れるようになり、社内の雰囲気が大きく改善しました。



福田自動車工業株式会社
TEL 0037-6000-3633
埼玉県川口市八幡木1-23-10
8:30~19:00
定休日：水曜日

今、会社は新しい仕組みを取り入れ、大勝負を賭けようとしています。改革に近い取り組みです。このタイミングだからこその新たなチャレンジです。5年前だったら無理だったと思います。

私が最近よく言っている言葉に「体格は生まれつきのもので変えられないけど、体質は変えられる」というのがあります。社長も社員も同じように考え方や観点を考えることによって、会社をいい方向に改善することができると思っています。